

<お客様各位>



ゴルフダイジェスト・オンライン HOTLIST JAPAN 2017

**「TW737 Vs アイアン」がアイアン部門にて
ゴールド賞を受賞！**

その他にもシルバー賞を4部門で受賞いたしました

ゴルフダイジェスト・オンラインが主催するゴルフギアのレーティング企画「HOT LIST JAPAN」の受賞クラブが本日発表され、弊社の「TW737 Vs アイアン」がアイアン部門にてゴールド賞を受賞しました。また、フェアウェイウッド部門で「TW737 フェアウェイウッド」が、ユーティリティ部門で「TW737 ユーティリティ」、ウェッジ部門で「TW-W フォージド ウェッジ」、パター部門で「TW-PT ブレードタイプ パター」がシルバー賞を受賞いたしました。

なお受賞にあたっての選考委員のコメントは次ページをご参照ください。

■HOT LIST JAPAN 2017 とは

2016年4月から2017年5月に日本で発売された最新のゴルフクラブが対象。プロとアマチュア計17名で構成された試打テスターが、規定の条件や審査方法にそって試打テストを行い、総合評価点によってドライバー、フェアウェイウッド、ユーティリティ、アイアン、ウェッジ、パターの各部門に「ゴールド賞」「シルバー賞」が授与されます。



TW737 Vs アイアン



TW737
フェアウェイウッド



TW737
ユーティリティ



TW-W フォージド
ウェッジ



TW-PT ブレードタイプ
パター

【テスターのコメント】

	金谷 多一郎プロ	マーク金井氏	鹿又 芳典氏	関 雅史プロ
アイアン部門				
 TOUR WORLD TW737Vs アイアン	本格派ゴルファーも納得の“HONMAらしい”構えやすさ クセのないオーソドックスな形状は、“HONMAらしい”抜群の構えやすさを演出しており、アドレスしただけで思い通りの球筋をイメージできる。アスリートゴルファーが求める構造を具現化したモデルといえる。マイルドな打感と飛距離性能も魅力で、ツアープロのフィードバックを生かした技術力に感心してしまうほど。	カーボンのメリットを凝縮 高性能シャフト「VIZARD」 ヘッドの高性能もさることながら、同社開発のアイアン用カーボンシャフト「VIZARD（ヴィザード）」の重量帯が魅力的！ 重めのカーボンも入れられることで、しっかり振り切れると同時に、繊細な感覚も反映できるしなやかさを美感できる。カーボンシャフトのメリットを十分発揮し、ヘッドの性能を最大限に生かしている。	同シリーズ一番の飛びで バランスが取れた高い性能 4機種ある同TW737シリーズの中でも、飛距離が一番しっかり出てくれるモデル。飛距離性能も寛容性もあっていて性能の高さを感じる。このモデルなら打感と打音の良さをコースでも体感できるだろう。ロフト角の設定も含め、幅広い層のニーズに対応しているアイアンだ。	大きなキャリーで狙える！ 高さが出せるTWアイアン 広すぎず狭すぎず適度なソール幅で、振り抜きやすく飛ばしやすい。ボールの上げやすさもあり、大きなキャリーで攻めていけるモデル。巧みなヘッド構造により、スピンで止めることもできるが、ここまで高さを出せるのであれば、ボールを高く上げてグリーンに落とすイメージでもOK。多様な使い方ができるキャビティアイアンだ。
フェアウェイウッド部門				
 TOUR WORLD TW737 フェアウェイウッド	アベレージゴルファーまで 使える「TW」シリーズ 「TW」シリーズはアスリート向けというイメージの強いブランドだが、このフェアウェイウッドはヘッド体積も十分あり、ライに応じた球筋のコントロールが可能。投影面積も大きいことでシビアな印象を受けず、ストレスを感じずにプロからアベレージゴルファーまで幅広く使えるフェアウェイウッドに仕上がっている。	フェースに吸いつく！ 驚くような“弾き感” とにかくフェースの弾き感が特別良かった。ボールがフェースに吸いつくような打感で、ボールの初速もしっかり出て、強い球が生まれる。“ぶっ飛び系”のフェアウェイウッドと遜色ないくらいに飛距離性能を発揮してくれる。球も上がりやすく、引っかからないので、思いきり打ちにいけるフェアウェイウッド。	見た目からも打感からも 感じる、安心感と操作性！ 計算し尽くされた、とてもきれいなヘッド形状。大きさもちょうど良く、見た目から安心感と操作性が両立している。試打した感触もその通りで、しっかりバランスの取れた高性能なフェアウェイウッド。同シリーズのドライバーを購入した人はもちろん、単品で買う人も一度このモデルを打ってみてほしい。	伝統的モデルを継承しつつ さらに上のレベルの高性能 昔のパーシモン時代の感覚を生かせるヘッド形状とシャフト性能。操作重視のモデルでありながら、抜きの良さがキラリと光る。ソール形状をしっかり工夫して製作してある。本間ゴルフの伝統的なモデルを継承しつつ、さらにワンランク上の操作性と飛距離性能を感じさせてくれるフェアウェイウッド。
ユーティリティ部門				
 TOUR WORLD TW737 ユーティリティ	申し分ない打感や打音 HONMAらしい本格派UT！ 打感も打音もいいので、イメージを出して気持ちよく高弾道のストレートボールが打てる。見た目はオーソドックスでオートマチック感がある。スクエアに構えて使えば、ストレートな弾道でしっかり飛んでいく印象。打感やスピンコントロールは、さすがHONMAとうならせてくれる“らしさ”が十分に出たクラブ。	中上級者やマニアも納得の 打感とシンプルな構造！ 打感が良く、とにかく格好いいUTという印象。シャフトもしっかり振り抜ける本格派で、ヘッドとのマッチングが優れている。球筋を打ち分けたい中上級者や、シンプルな構造のユーティリティを求める人におすすめ。また、イメージ通りに球筋を打ち分けられる性能の高さから、クラブ好きのややマニアックな上級者も納得の一本。	こだわりのHONMAらしいUT 見た目のきれいさは抜群！ ウッド系ユーティリティの中では一番とっていいほど、見た目の顔がきれい。オフセンターヒットでも真つすぐ強球が出る寛容性を持ちながら、左に行きすぎない点もうれしい。“HONMAらしいモデル”なので、ドライバーからアイアンまで、シリーズでそろえるのであれば合わせやすい。	ロングアイアンのような 弾道を可能にしてくれるUT スピンコントロールに優れており、まるでロングアイアンを打っているような弾道を可能にしてくれるユーティリティ。グリーンまでやや距離のある場所からでも、難なく運んでいける性能の高さを感じる。薄肉のクラウンとそこに配置された高強度スチールフェースによって生まれる、球の強さも好印象！
ウェッジ部門				
 TOUR WORLD TW-W フォージド ウェッジ	狭いソールの接地面積 どんなライでも抜けてくれる プロが求める“抜きの良さ”を追求しただけあり、その抜け感によって距離感をコントロールしやすいウェッジ。ソールの接地面積が狭いので、抵抗感が少なく、どんなライでも抜けてくれる。シンプルなデザインは同シリーズの「TW737 アイアン」に近く、一貫した流れをマッチさせやすい。	スチールでは味わえない カーボンシャフトの良さ 高性能のウェッジ用カーボンシャフトのおかげで、スチールでは味わえない微妙な感覚をしっかりとボールに伝えることができる。インパクトでフェースにボールが乗っている感覚をしっかりと実感でき、出球も低めで非常にスピンのかかる。ただ、ソール幅が狭いので、バウンスを効かせて打つというのが難しい印象…。	ボールの下に入れやすく 小気味よく振り抜ける！！ とにかくスピン性能が高く、思い通りにボールを止めることができる印象。全体的にコンパクトで、ストレートに感じさせるリーディングエッジのおかげで、ボールの下にヘッドを入れやすい。スバッと抜けてくれて、打感が気持ちよく、小気味いい感じで振り抜ける。短い距離でもしっかりとインパクトが可能。	“熱意系ゴルファー”を 納得させるスピン性能 フェースのミーリング効果なのか、とても強くスピンが入るウェッジ。“熱意系ゴルファー”のニーズを満たすために、納得させるスピン性能をちゃんと備えた印象。またソール形状も絶妙で、閉じたままでも開いて打つてもどちらでもその抜きの良さを味わうことができる。軟鉄鍛造の打感の良さも相まって、その性能の高さには脱帽！
パター部門				
 TOUR WORLD TW-PT ブレードタイプ パター	どんな人にもマッチする “ウエイト調整”が絶妙！ ソールに装着されたウエイト調整が効果的で、自分のストロークに合わせてやすい印象。トゥ側とヒール側に1個ずつ装着されたタンクステンウエイトは、絶妙に考えられていて、どんなタイプのプレーヤーにも理想的な総重量とバランスに合わせられる。打音も非常に心地よく、ソリッドな打感でしっかり打てる。	プレーヤーの“直感”を 表現してくれるシャープさ 見た目から受けるシャープな印象のまま、打感も鋭い感覚で打てるので、違和感なくスムーズにストロークができる。プレーヤーの“直感”をそのままダイレクトに表現してくれるモデル。ただ、その反面、ミスヒットにはシビア。ちょっとした油断も持たせてくれない。上級者がさらに上を目指すための一本だ。	一級品の構えやすさ&打感 匠の技が詰まった優れもの 多くのストロークタイプにマッチするロフト角に設定されており、構えたときに感じる顔の美しさもまさに匠の技術によるもの。ネックが軽く、ソールが重くなっている構造も、構えやすさに反映されている。フェース面にボールが乗っている時間をしっかり感じさせてくれる打感。プレーヤーのイメージを表現するのに必要な技術が詰まっている。	まさにフェースが“手の平” 鋭い感覚がしっかり伝わる！ 本間ゴルフが本気でブレード型を作った、という印象。すでに定評のあるマッスルバックのようにソリッドで、ここまで精度高く繊細さを表現できるのかと驚かされた。まるで“手の平”のように意思が伝わるフェースでタッチが出しやすい。中級者はさらに上のレベルへ、上級者はより実戦的に使える。熱意系ゴルファーを納得させる性能が十分備わったモデル。